



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE : 中東地域におけるセメント業界の低迷

(13日付ガルフ・ニュース紙)

1. 中東地域の不動産および建設業の低迷により、セメント業界の業績が悪化している。グローバル・インベストメント・ハウス社の統計によると、GCC の建設業において最も大きな割合を占める UAE では、2010 年前半の売上高が前年比 33.5%減となった。なお、クウェイト、カタールおよびオマーンでも著しい減少が見られ、それぞれ 31.6%、24.5%、27.2%の減少となっている。GCC 全体の 2010 年前半の売上高は前年同期比 13.8%減、収益も 12.4%減となっている。
2. GCC で唯一売上増が見られたのはサウジアラビアで、堅調な需要や新規プロジェクトにより 5.5%増となった。収益面においても、原料費の低減および政府によるエネルギー費用の補助等により、GCC 内で最も高い利益率を確保できる見込みとなっている。同国のセメント業界の 2010 年前半の粗利益率は 52.7%に達している他、オマーンも同様の理由で 42.2%となっている。
3. GCC 全体の税引前利益に関し、2009 年前半は 9 億 3880 万ドルだったものの、2010 年前半は 8 億 2210 万円へと減少した。今年前半は、各社とも財政面での再建に焦点を当てており、債務額は 2009 年前半に同年同期比 8.1%減、今年前半に 2.8%減、また、保有資産額は 2009 年 0.1%増、2010 年には 1.2%増となっている。
4. 2009 年は 1 トンあたり 78.5 ドルだったセメント価格は、プロジェクトの延期やキャンセルにより、2010 年は 1 トンあたり 65.6 ドルまで下落している。UAE のセメント会社はサウジアラビアやオマーンへの進出を模索しており、同市場ではさらなる競争の激化も予想される。
5. ドバイ商工会議所は、UAE の建築業市場に関し、2011 年にも回復が見込まれるとし、同業界のトレンドとして、民間のプロジェクトから政府主導のプロジェクト（特にアブダビ）に焦点がシフトしている他、連合を組んで案件獲得に挑む会社が増えていると述べている。